

126

第十特別根據地隊戦時日誌

軍機秘

自昭和十九年九月一日  
至昭和十九年九月三十日

功績調査部長殿

第 一 〇 〇 〇 号

十月 〇 日 送付

司令部 印

役	所管(所属)
務	第一
作	南遣艦隊
戦	
部	
隊	

0664

六	會計經理	六	醫務衛生	五	作戰經過概要	四	參	三	令達報告等	二	人員現狀	一	經過	目次
---	------	---	------	---	--------	---	---	---	-------	---	------	---	----	----

(目次終)

0665

一 経 過

敵 情

印度洋方面より敵表攻企図依然積極化ニツツアリ東方より  
 スル米國ノ菲島方面ニ対スル策動ト閑聒ナルモノ如ク直接  
 當隊担任区域ニ対シテモ通商破壊空襲ノ虞不尠ニナラス  
 北緯南緯オオ方面ニ対シテモ敵機ノ未離散ノ懸念アリ

我が軍ノ情況

前記敵企図ニ対シ積極邀撃態勢ヲ強化充實セリ

(1) 担任区域中ノ防備強化及兵力部署異動圧ノ如シ

(2) 五日 第五五號駆潜特務艇 十三根ニ編入

(3) 五日 第一五號駆潜特務艇 二十根ヲ編入

(4) 六日 司令官派遺隊第三見張所完成配備ニ就ク

(5) 九日 八重山編入

(5) 二十四日 八重山敵機ト交戦被弾沈没(目下島南端に燈台沖)

6. 一五日 アルネイ沖第一次機雷敷設終了

(12) 担仕区域中敵潜ノ出没殆ド無ク 機雷ニ依ル左ノ被害アリ

(11) 五日 一三〇 北征丸 觸雷(機雷機雷疑) 損傷於コウニ水道南口

(10) 一六日 〇九四五 今若丸 觸雷(浮遊機雷疑) 沈没於北五度八分東(五度五分

(三) 作戰指導

(1) 哨戒通商保護関係

(11) 七日 二五五 阜月(一六北一〇一五五東ニ敵潜発見ニ三三〇船団

護行中ノ六及七長連丸掃蕩セシ敵情ナシ九日五五撤入

(12) 二首〇〇〇 M日作戦(マソク海封掃蕩作戦)開始第三四号

掃海艇参加ス

(14) 補給訓練整備関係

(11) 第三四号掃海艇 一日至一日 在昭南兵艦修理補給

127

- (17) 龍潜特五号 五日至六日 在昭南修理整備
- (16) 龍潜特五号 一九日至二〇日 在昭南整備補給
- (15) 龍潜特四五号 二九日至三〇日 在昭南入渠修理
- (14) 龍潜特五五号 四日至七日 在昭南入渠修理
- (13) 二 龍 丸 一日至二日 在昭南整備補給
- 六長運丸 一日至五日 在昭南整備補給
- 七長運丸 一日至五日 在昭南整備補給

0668

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日			
又沈戦文ト機敵口口ニ										入編根特十付日九										八重山	麾下艦船部隊												
湾イネルブ										マ										太立													
湾イネルブ										照										利丸	第四十四掃海隊												
照南	中	各	艦	湾イネルブ						艦	海	中	ミ	リ	艦	海	中	ク	チ	ン	中	海	艦	南	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭		
ミ	リ	艦	海	中	ミ	リ	中	各	艦	南	昭	中	海	艦	南	昭	中	海	艦	南	昭	中	海	艦	南	昭	昭	昭	昭	昭			
被	南	中	海	艦	南	昭	艦	海	中	西	貢	艦	海	中	コ	ダ	ル	中	海	艦	南	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭			
中										地										以	昭												
照	南	艦	海	中	ハバンテソセト一和						艦	海	中	河	口	ク	ア	ル	中	海	艦	南	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭		
南	昭										艦	海	中	河	口	ク	ア	ル	中	海	艦	南	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
西	照	南	艦	海	中	入編										艦	海	中	南	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
入編										隊										昭	昭												
リ	中										海										南	昭											

130

軍機

自昭和十九年十月一日  
至昭和十九年十月三十一日

十特限機密第一號

第一南遣艦隊戰時日誌

所管(所属)	第一南遣艦隊
役務(職務)	部隊

19/10

0670

- 一 経過 目次
- 二 人員の現状
- 三 令達報告等
- 四 参考
- （一） 戦訓
- （二） 寫真
- 五 作戦経過概要
- 六 醫務衛生
- 七 會計經理

次

目次終

19  
10

0671



一 經  
(一) 過

敵情

菲島方面ニ対スル敵意圖ニ呼應シ西方面ヨリアン  
ダマシニコバルニ対シ漸次積極的ノ動キヲ示シ十七日  
ヨリ十九日ニワタリニコバル方面ニ敵機動部隊出現  
セリ本隊擔任区域内ニ於テモ一尋確方面ノ補給  
路ニ対スル敵潛、蠢動直接昭南方面ニ対スル敵  
機ノ動行亦豫期セラル、狀況ニテリ

(二) 我軍ノ情況

敵ノ企圖ニ対シ邀撃々破、態勢ニアリ持テ各種戰  
備ヲ一層増強戰鬪即應ヲ期シテリ

(1) 編制(兵力部署)變更左ノ如シ

(1) 第一第四號及五號掃海艇編入(戰時編成依リ)

(2) 主旨第五號掃海艇第十五根據地隊編入(南遣兵力部署依リ)

(4) 施設關係

ナルネイ灣ニ對スル水中防備施設終了

(4) 對潛關係

擔任区域内ニ四回敵潛ヲ發見被害、主若次如シ

(1) 十日 萬陵丸 被雷擊沈没 於一尋確燈台南方

(2) 十四日 大善丸 被雷擊大損害 於ナルネイ灣沖

(3) 二十日 旺洋丸 被雷擊沈没 於ナルネイ灣沖

羽後丸

(4) 機雷關係

十一日 乃内水道南口ニテ磁氣機雷一個拘束處分ス

二十八日アルネイ灣口ニテ梅榮丸觸雷沈没

(三) 作戰指導

(1) 作戰命令要綱

(1) 印度洋方面ニテ西正面ニ対スル反攻ノ算大ナルヲ以テ

本月一日以降非常戰備期間トシ當地ノ實情ニ即シ

左ノ点ヲ持テ強化ス

対空戰闘掃海戰化兵戰対空施設各種偽工事

爆彈處理対策各種被害應急處置対策非常

用水ノ確保

(2) 十一日以後一尋確附近ニ敵潛出現全カヲ舉ゲテ撃滅

ニ努ム

(4) 哨戒掃蕩待機等

(1) 二日九〇九石狩丸船團一尋確通過、際同燈台、二七  
 五度八科ニテ音響機雷ヲシキモ、爆強直々ニ附近三  
 渾内航行禁止スルト共ニテ、派遣隊ヲシテ同地点  
 附近ノ掃海ヲ發令セシ處、呂一五潛一、二日一七、二五、一  
 尋確燈台、一〇〇度、一〇渾ニ水柱(三)ヲ認メ引續キ  
 一七三〇ニ潛望鏡ヲ認メタル處、二〇五一尋確燈台、一六  
 〇度、一五〇〇米ニテ萬陵丸被雷撃沈没、驅潛特一二四  
 掃蕩第三利丸一、三日一三〇昭南發掃蕩ニ參加  
 十四日ヨリ十五日迄、驅潛特五五參加ス、一七日夕刻迄  
 敵情ナシ撤消ス

(2) 一四日、六〇〇北二平東ニテ日鐵丸沈没、永享丸(損傷)大  
 善丸(損傷)被雷撃海一八驅潛一九掃蕩ニ參加ス。洋  
 上潜水艦ヲ認メ攻撃セルモ、潛没敵情ナシ

(3) 二〇日。三三八四―四五北二二三。東ニテ羽後九被雷撃沈没  
同。四三七四―四〇北二二三。東ニテ北洋九被雷撃沈没

敵情ナシ

(4) 二三日〇三〇三。二船團一―三五北一。五―三一東ニテ雷  
〇二三。日田九一―四七北一。五―一八東ニテ海上潜水艦発見

被害敵情ナシ

(5) 二四日。二五三三西二―四。北一。七―一四八東ニテ海上潜水艦  
発見砲撃爾後敵情ナシ

(6) バタム島北西部島岬ニ白人謀者出現バタム島ビラタン  
島附近ヨリリ方面昭南方面ニモ潜入ノ兆アリ陸軍  
掃蕩検査中ニシテ本隊モ擔任区域内嚴重ニ警戒シテ

0676

(ハ) 補給訓練整備関係

- (1) 懸潜六三號
- (2) 掃四號
- (3) 掃五號
- (4) 刺丸
- (5) 第二刺丸
- (6) 懸潜持置號

二十三日 至 二十八日  
 三日 至 三十一日  
 一日 至 三十一日  
 一日 至 十三日  
 二日 至 五日  
 一日 至 十三日  
 十八日 至 三十一日  
 一日 至 十九日

在昭南整備補給  
 在昭南修理  
 在昭南修理及訓令事  
 在昭南入集修理  
 在昭南入集修理  
 在昭南入集修理  
 在昭南入集修理  
 在昭南入集修理

0677



自昭和十九年十一月一日  
至昭和十九年十一月三日

第十特別根據地隊戰時日誌

一、經過

(一) 敵情

菲島方面ニ對シテ敵企圖ニ呼應シ西方面印度洋ヨリスル當方  
一面ニ對シテ敵企圖依然然警戒ヲ要スルニテ基礎トシテ當地及島  
方面ノ進軍態勢ニ對シテ日ヲ以テ港灣工作關係施設ニ對スル爆撃  
ヲ開始セリニテ潜水艦ニ依ル交通路破壞(符ニホネオ北岸)  
ヲ強化シテリ

(二) 我軍情況

本月末ヲ期シ各種戰備ヲ充實ヲ期シ概テ完了シ遂撃態勢  
ヲ強化セリ

日ヲ以テ昭南爆撃ヲ對シテ曾所空ニ對シテ函金ヲ期セリニテ

19. 11



19. 11

當隊担任區域中敵潛掃蕩ノ漢衛ニ努メ敵潛一隻撃沈セリ

(4) 編制(兵力部署)

(1) 十二日 天津風當隊ニ編入(十一号艇あり)(兵力部署)

(2) 十三日 初鷹當隊ニ編入(十五号艇ヨリ)(兵力部署)

(5) 施設關係

(1) 十八日 十種高南施臺設置開始

(6) 對潛關係

(1) 二日 八仁丸 被雷撃沈没 於「マニラ」群島南方

(2) 三日 大明丸 被雷撃沈没 於「マニラ」群島北東方

(3) 十九日 日南丸 被雷撃沈没 於「マニラ」海峽南部

(4) 二十三日 驅逐艦敵潛水艇撃沈 於「マニラ」沖

(5) 二十六日 雄鳳丸 被雷撃大破 於「ホムボ」沖

(6) 二十九日 由利島 敵潜水艦撃沈(量確定) 於「マニラ」群島南方

0680

二 對航空機關係

(1) 五日 一〇一五 約三機 昭南軍港爆擊一機擊破

(2) 十九日 〇二一〇 夏川丸 被爆擊大破 於不來內灣

(3) 廿五日 〇〇三〇 夏川丸 被爆擊沉沒 全 右

(4) 廿九日 天明 愛宕丸 被爆擊大破 於不來內灣

三 對機雷關係

十三

(三) 作戰指導

(1) 作戰命令要綱

海軍部 撤油水路警備ニ關スル陸海軍現地協定ニ依リ十月十日ヨリ  
十海根司令官ハ第三船舶輸送隊ヲトシ支部長ヲ指揮(掃海關)  
スル共ニ在ルニ海軍部隊ヲ同水路掃海ニ關シ同支部長ノ指  
揮ヲ承ケル

(四)哨戒掃蕩待機等

(1) 二日二七七八八九〇一五九北二〇七一四四東ニテ被雷撃沉没五二六

驅潛艇掃蕩ニテ敵情ナシ

(2) 三日一五〇大明九五五三九二一一二東ニテ被雷撃沉没以風ニ一驅

潛掃蕩セルモ敵情ナシ

(3) 一九日八四〇北一三四東一〇一五五ニテ敵潜水艇一白南九被雷撃沉没

掃蕩ニテ敵情ナシ

昭南方面ノ侵入ヲ防ガ為カリヤン及ビソノ間ニ砲艇三隻ヲ派出スルト共ニ

驅潛三五号南下現場ニ急行セシメ驅潛掃蕩四五ヲシテ一尋礁附近ノ敵

戒ニ當ラシムニ日〇七〇。以後驅潛掃蕩一五號。九〇驅潛三四號昭南出

撃一六〇。第六長連丸及第七長連丸昭南出撃兩機後掃蕩ニ参加ス

一九日二〇〇ヨリ一〇二五間及二〇日〇七〇。以後水偵各一機ヲ以テ哨戒ニ

従事スニ二日一五〇驅潛三五号芳灯台ノ八五度一三〇米ヲ敵潛ヲ深

19. 11

0682

如前次集隊攻擊之ヲ擊沈捕虜八名ヲ得三月八日石瑛蕩ヲ終リ撤哨ス

(4) 石瑛蕩島ヲミテ島北方三十七日三〇白人謀者三名三月八日一八。

白人謀者六名出現アリカ派遣隊八陸軍部隊ト協力掃蕩中

(5) 三月八日一六。前月來續行中ナリニ尋礁附近磁氣掃蕩中止

(八) 補給訓練及兵備施設關係

- (1) 掃 四號 一日至三日 於昭南入渠修理
- (2) 大 立 一日至三日 於昭南入渠修理整備補給
- (3) 利 丸 一日至十四日 於昭南入渠修理
- (4) 第二旬丸 一日至十四日 於昭南入渠修理
- (5) 第六長運丸 一日至二十日 於昭南入渠修理整備補給
- (6) 第七長運丸 一日至二十日 於昭南入渠修理整備補給
- (7) 鹽沼崎一三號 一日至二十日 於昭南 修理
- (8) 龍沼崎五〇號 十三日至十八日 於昭南 修理

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十
天津	昭																													
初	昭																													
立	昭																													
海	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
船	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
隊	昭																													
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭

(四) 麾下艦船部隊

0684

088

139

軍極秘

十特機密第一二號

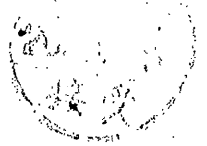
昭和十九年十月一日  
至昭和十九年十一月三十日

第一特別根拠地隊戦時日記

二月四日送付

役務	所管
作戦	第一南遣艦隊
部隊	

19  
12



0685

一 經過	目次
二 人員現狀	
三 令達報告等	
四 參考	
(一) 戰訓	
(二) 寫真	
五 作戰經過概要	
六 醫務衛生	
七 會計經理	

(目次終)

0686

586

自昭和十九年十一月一日  
至昭和十九年十二月三十一日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過  
敵情

菲島方面ニ對スル敵ノ動行ニ關聯シ昭南ノ重要性ノ加重セ  
為直接交通路破壊ヲ強化セ模範ニ昭南東方(特ニホルネオ  
北岸)ニ潜水艦ノ出現多ク、ミナス産油及搬油ノ妨害ヲ企圖シ、  
ニ連日敵機來襲シ、更ニ直接當地方ノ航空機來襲セ予  
期ナリ、狀態ニテリ

二 我軍、情況

直接昭南周辺ノ敵ヲ撃滅スルト共ニ邊警態勢ヲ一層強化シツ  
ツアリ

(四) 編制

(一) 九日 大立南西部隊指揮ヲ解キト佐藤復敵

19.  
12

0687



(2) 十三日 保持現狀 本隊ニ編入(一南遣兵力部署)

(3) 十四日 早七長連丸ノミトラヘラヨシ沖ニテ被雷撃沈没

(4) 十八日 懸港待至號 二十一待根ニ復航

(5) 二十日 初 鷹 當隊ニ編入ヲ解カレ一南遣本隊ニ編入

(6) 二十日 初 鷹 當隊作業中 當隊指揮ヲ受ク

(四) 施設關係

(1) 一日 マツカ海峽ヲキト岬ニ電線裝備ニテ作業開始

(2) 六日 一年懸附近水中所備施設設置

(3) 月末一部不着兵器ヲ除キ第一砲台施設完了

(五) 對潛關係

担仕區域内待テホルネ可北岸ニ敵潛ノ出現増加シ七回ヲ救フニ至

レリ被害ノ主トモノ在知シ

(1) 八日 松榮丸 被雷撃手沈没 十子諸島東方約百五十哩

0688

19.  
12.

- (2) 二十四日 驅潛三號 被雷擊沈没 本米北岸南鄙ヨリク岬附近
- (3) 二十五日 順豐丸 被雷擊沈没 タニシ群島東側

(一) 機雷關係

依然ヘルル 方面ニ浮遊機雷ヲ認ム

(二) 作戰指導

(1) 作戰命令要綱

マニツ海峡一尋礁附近機雷敷設(十月廿七日ニテ一部ヲ發シ  
終了殆都一月三日戰没予定)ノ為航行禁止區域設定ス(十月廿日)

(2) 哨戒掃蕩待機等

(1) 七日二二四〇 三十三〇北二二一三五東ニテ海防四三ニテ臨時船團護衛中  
洋上敵潛ヲ砲撃八日〇〇〇六三一五北二二一五七東ニテ敵潛三隻ノ  
雷撃ヲ受ケ松深丸沈没海四三驅潛三〇三哨戒三六船團ヲカチニ避  
迫セシメテヲ刺歴中。三〇四一三五北二二一三五東ニテ敵ヲ見失ハセ

0683

〇八五同地也ニシテ更ニ潛望艦發見判壓掃蕩セシ敵情ヲ得ズ

(2) 日本明子島岬沖(一五九〇一〇〇東)附近ニ敵洋上潜水艦發見  
第六長運九第七長運九九掃蕩セル敵情ナシ下日一〇〇〇撤

哨六十五艇但仕區内)

(3) 十日一〇五三分第七長運九胎圍護衛中被雷撃沈没陸軍飛行機  
九掃蕩第六長運九驅潛持四(驅潛七八九及六三號掃蕩判壓ニ從テ  
多少被害ヲ與ヘタリ十六日一四二五第六長運九ハシラ島ノ三三五度  
一七〇〇ノ下ニテ潛望鏡發見セルモ爾後敵情ナシ十八日二〇〇〇以後

撤哨ス

(4) 前月夜リテ群島ニ白人謀者ヲ掃蕩中十五日一〇〇〇頃セシ  
島ニシテ六名發見一者刺殺十六日二〇〇頃一名逮捕十六日二〇〇  
頃テ下島南端ニシテ一名溺死モ標称十八日一七二〇頃ゲ下島ニ  
於テ憲兵ニシテ二名逮捕十八日一八〇〇頃下島ニシテ大尉一名逮捕

0690

19.  
12.



(1) 補給訓練整備關係

- |           |            |             |
|-----------|------------|-------------|
| (1) 天津風   | 一日至三日      | 在昭南修理(入渠も含) |
| (2) 四號掃海艇 | 一日至七日      | 在昭南入渠修理     |
| (3) 全石    | 十日 至 十四日   | 在昭南入渠修理     |
| (4) 三號掃海艇 | 二十日 至 二十一日 | 在昭南入渠修理     |

0692

19.  
12.



海軍武功調査委員長殿

軍極秘

十特根機密第一二號 一三

自昭和二十年一月一日  
至昭和二十年一月三十一日

三月十九日送付

第十七特別根拠部隊戦時日誌

所管所属	第十七南遣艦隊
役務	戦時部隊

144

0694

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(一) 戰訓

(二) 寫真

五 作戰經過概要

六 醫務衛生

七 會計經理

目次

(目次終)

0695



自昭和二十年一月一日  
至昭和二十年一月三十一日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過

(一) 敵情

敵ハ比島ヲ爲ルルニ對スル上陸作戰ヲ決行スルト共ニ補給修理等戰力推進基地トシテ昭南又周辺各地ニ對スル航空機(特ニ日機)ヲ依ル積極的攻撃ヲ開始セルニテ又潜水艦ニ依ル交通線破壞ヲ強化シテテリ持テ今後直接突カヨリスル機動部隊ノ攻撃ノ算ナリトス

(二) 我軍ノ情況

航空機ニ依ル昭南空襲及潜水艦及機動部隊ニ依ル交通線破壞ニ對應シ自給自足對策ヲ促進並ニ擊配備ヲ備ヘテリ

(三) 編制(兵力部署)

一月三日 初鷹(尋獲機雷敷設作業終了)五根司令官ヲ指

種下入ル

(2) 三日 妙高、高雄本隊麾下入ル(南遣兵力部署)

(3) 三日 南西部隊兵力部署変更(長リ西部方面部隊トナル)

(四) 施設關係

(1) 三日 初鷹一系礁下線機雷敷設終了(同地敷設完了)

(二) 對潛關係

祖任區域内特ニ馬來東岸ニ於テ離潛、交通破壞顯著ニシテ

確認セラル七回被害、主ナル左ノ如シ

(1) 六日 日榮丸 被雷撃沈没 コトバシ沖 約八十哩

(2) 十四日 由利島 被雷撃沈没 コトバシ沖 約四十哩

(3) 二十四日 時雨 被雷撃沈没 コトバシ沖 約九十哩

(4) 三十日 三つわく丸 被雷撃損傷 コトバシ沖 約四十哩

(5) 三十一日 漁船二隻 被砲撃沈没 長門海峡北口附近

0697

(二) 對航空被關係

當地亦二對スル航空機、出現漸次増加ヲ来スル不レ沿岸ハ  
 「三ツ」中心トシ連日大型機、出現下リテ然レト交通不能ナリ亦  
 昭南方面モ日ソ偵察七回下リ八、一、二、三、四、五、六、七、八、九、各日其  
 他「三」以上艦上機ト共、魚雷施設ハ爆撃又ハ銃爆撃ヲ受リ  
 五、七、八、九、ノ如シ

- (1) 十一月三日二七機昭南軍港五島嶼停泊集爆撃被害アリ
- (2) 二十四日「三」機油所艦上機約五十機米襲被害輕微
- (3) 二十六日「三」機昭南周辺水路ニ磁氣機雷敷設
- (4) 二十九日「三」機油所艦上機約七十機米襲被害輕微

(三) 被雷關係

二十六日 昭南水威ニ磁氣機雷大約五十個(四)ニ依シテ敷設セラレリ  
 其他「三」機ハ海峽北口方面ニ浮遊機雷ヲ認め

0698

- (1) 二十六日。二五四乃至。三五四磁気機雷約五十個(内リオ水道約十個)水路五個確認(西端北一個自爆)敷設掃海に依リリオ水道三一個處分第一衛門にて爆發音六ヲ聴取セルモ處分確認セズ
- (2) 二十六日。リオ水道主水路十四番浮標附近にて右機雷二個雷損傷
- (3) 二十六日。第十三系丸(特掃)がリオ水道アキラホリノ挂灯浮標附近にて右機雷二個雷沈没

### (三) 作戦指導

#### (1) 作戦命令要綱

- (1) リオ水道海峡一帯礁附近ノ航行禁止區域設定(十一月一日セラレタル所一月三日全作業終了)
- (2) 七日。一。ヨリ。リオ水道海ニ於テ對潛掃海作戦(四五作戦)開始セラレ十四日。三。終結ス本隊麾下掃海四利丸第一利丸驅潛特五五號参加セリ
- (3) 十六日敵機動部隊カミラシ湾東方ニアリ十三日以降被空襲ノ算ナシ

0699

ヲ以テ船舶避退(海軍關係)ニシテ陸軍關係シマカク(方面)実施十四日四。之ヲ解除ス

(四)十三日以降日出一時間前ヨリ一。迄(状況ニ依リ変更ス)令ナクシテ等ニ防空配備ノトトス

(イ)敵各重要水路ニ磁気機雷ノ敷設ヲ強化シテ各所備衛所見張監視(哨戒)機雷敷設監視報告又掃海ニ對シ一層留意セシム

(ロ)三音敵機動部隊來襲ニ備ヘテハス群島(シマツ島ノ定)

(ニ)見張所(六)設置ノ下發令(機密)待根命令作等十二號)

(四)哨戒掃蕩待機等

(一)二十四日船團護衛中六ト。北一。三四五東ニ時雨被雷撃沈没三宅海十三號探知セルモ効果不明ニ九。敵情ヲ得ズ撤哨ス

(二)二十六日。二五四以後。三五四頃迄B29約十五機昭南水域ニ磁気機雷約五十個敷設直ニ三鉄船航行ヲ禁止スルト共ニ掃海開始(シヨホル水道主水

0700

路リオ水道スリヤ水道)

三十一日ニヨリ以後一番浮標ヨリマニガ海峡トホル岬ヲ通スル四十五度線迄  
及リオ水道以外掃海(第一次掃海)終了前記區域以外ノ鉄船航行禁止  
ヲ解除ス

0701

麾下艦艇部隊

三	号	元	三	五	四	三	二	二	一	八	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一
軍艦 昭																								
入編隊初依二着部力大隊艦造南一付日一																								
南 昭																								
入編一機五千付一了終業作設敷係關隊今日三																								
南 昭																								
西貢 中海航 西貢 龍海航 龍海航 中海航 南 昭 中海航 中海航 中海航 南 昭 中海航 中海航 中海航 南 昭 中海航 中海航 中海航 中海航																								
南 昭 中海航																								
人ハ>テツト一和 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 中海航 中海航 中海航 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中																								
人ハ>テツト一和 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 中海航 中海航 中海航 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中																								
ソラベ 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中																								
中海航 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中																								
人ハ>テツト一和 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中																								
ソラベ 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 南 昭 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中 龍海中																								

(一) 職員官氏名

陸		司令部										區分
陸		司令部										職
附(銀印付)	大隊長	交通	參謀	附(銀印付)	附	主計長兼第七分隊長	軍醫長兼第六分隊長	副官	參謀	司令官	首席參謀	主
陸上警備科附隊甲坂士官少尉	大尉	保護	附	少尉	主計	主計	醫官	大尉	少佐	中將	勢	
小林 介郎	山口 涉	細谷 義男	二田 泰弘	大野 尚志	桑原 一白	堤 盛雄	長渡 國太郎	松本 定義	岡本 登志夫	齊藤 彌吉	官	
										今村 脩	氏	
											名	
											記事	





防 高		科 計 主		科 務 醫		科 務						
防 高	附 隊 部 付	"	"	"	"	附	司 官 承 服	附	司 官 承 服	附	"	司 官 承 服
防空隊附(機銃砲台長)	防空隊附(高角砲台附)	掌 經 理 長 兼 第 七 分 隊 士	掌 經 理 長 兼 第 七 分 隊 士	掌 音 響 長 兼 第 六 分 隊 士	職 務 執 行	軍 醫 長 附 第 六 分 隊 士	第 五 分 隊 士	水 警 科 附 兼 第 四 分 隊 士	第 四 分 隊 士 兼 第 五 分 隊 士	第 四 分 隊 士	內 務 士	職 務 執 行
"	少 尉	主 曹 長	主 少 尉	衛 中 尉	醫 中 尉	醫 大 尉	"	"	"	機 曹 長	"	少 尉
平 田 稔	木 村 誠	山 崎 啓 二	中 島 常 一	山 口 哲 二	田 光 禎 壽 男	田 中 信 義	高 倉 吉 九	官 瀨 俊 雄	中 山 太 三	夏 秋 清 治	小 松 正 木	河 野 實

0705

		隊									
		台砲銃機					台砲角				
附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附
		四補附 司令官承服		四補附 司令官承服							
掌通信長 第三分隊士千通水達	特務隊長 第三分隊士	防空隊附 (防空隊長附)	防空隊附	防空隊附	高角砲附 兵補係分隊士	防空隊附 第二分隊士	防空隊附	防空隊附	防空隊附 (機銃群指揮官)	防空隊附 (機銃群指揮官)	防空隊附 (高角砲台長)
"	"	少尉	"	"	"	兵曹長	"	"	"	"	"
奥野 市太郎	田村 益藏	高橋 恒行	下野 幸雄	大澤 國夫	辻 次郎	引地 進	三枝 光二	大野 篤永	鈴木 恒良	齋藤 哲男	山口 哲夫
											吉村 啓吾

0706

151

レバ		ンナバ スバ 隊遣		所備備防				科備警上水 隊信通隊警水				
"	附	"	附	"	"	"	附 被仰付	四 海 軍 司 官 隊	"	"	"	附
パ ル ン 海 隊 第 十 六 分 隊 士	パ ル ン 海 隊 第 十 六 分 隊 長 執行	ア ナ ス 水 遣 隊 第 九 分 隊 士	ア ナ ス 水 遣 隊 第 九 分 隊 長	昭 南 第 一 所 備 備 長 第 三 分 隊 士	昭 南 第 一 所 備 備 長 第 三 分 隊 士	昭 南 第 一 所 備 備 長 第 三 分 隊 士	昭 南 第 一 所 備 備 長 第 三 分 隊 士	水 上 警 備 科 附 令 第 一 分 隊 士	持 致 力 隊 附 令 第 三 分 隊 士	第 四 所 備 備 附 令 第 三 分 隊 士	特 務 指 揮 隊 第 三 分 隊 士 航 海 長 執行	特 務 指 揮 隊 第 三 分 隊 士 航 海 長
醫 学 尉	大 尉	兵 曹 長	"	"	"	"	少 尉	"	"	"	"	兵 曹 長
村 田 秀 雄	宇 佐 美 卯 三 郎	山 田 隆 人	嶋 村 武 男	足 田 四 郎	小 西 宗 清	田 中 新 市	安 井 廣 昌	松 尾 明	森 中 心	金 本 教 雄	小 山 孝 吉	長 野 芳 明

0707



152

ブルネル						派遣隊	派遣隊					
附	附		附(被俘)		附	附(被俘)	附(被俘)	附(被俘)	附(被俘)	附(被俘)	附(被俘)	
ブルネル派遣隊附員第十分隊士	ブルネル派遣隊附員第十分隊士	ブルネル派遣隊附員第十分隊士	ブルネル派遣隊附員第十分隊士	ブルネル派遣隊附員第十分隊士	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	ブルネル派遣隊附員第十分隊長	
	兵曹長		少尉	醫尉	美尉	大尉	兵曹長	少尉	曹長		兵曹長	
下田平 辰巳	中島 繁	上野 隆司	櫻尾 正	高橋 勉	立岡 英夫	左倉野 可雄	松本 藤吾	白石 清秀	友近 禎	小野 泉	福園 保	大洲 喬

0709

第五号潜水艇			第四号潜水艇			下所張見		所張見空防一第		隊部	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	附	附	〃	附被仰付	〃	附
第五号潜水艇組余第三分隊士	第五号潜水艇組余第三分隊士	第五号潜水艇組余第三分隊士	第四十五号潜水艇組余第三分隊士	第四十五号潜水艇組余第三分隊士	第四十五号潜水艇組余第三分隊士	ラキヤトト仰見張所附余第三分隊士	ラキヤトト仰見張所附余第三分隊士	第一所張見張所附余第三分隊士	第一所張見張所附余第三分隊士	ブルネー派遣隊附余第十分隊士	ブルネー派遣隊附余第十分隊士
少尉	機曹長	兵曹長	機曹長	〃	〃	兵曹長	少尉	兵曹長	少尉	書長	兵曹長
荒川 義男	福井 静男	植村 紀六	辻 只夫	今井 一好	和田 尚正	織田 眞雄	前田 増美	田中 清二郎	野津 治郎	近藤 百平	山 實亮

0710

153

第五十五號 特務 隊	附	第五十五號 特務隊長 兼警備隊長 兵曹長	林	功
	第五十五號 特務隊第三分隊士	廣中	悟	
三ツ海上 交通保 護部	三ツ海上 交通保護 部長	大佐	阿部	耕運
三ツ海上 交通保 護部	少尉	甲斐	信喜	
官承服				

下士官兵及其他員數一月一日現在

兵種	兵科	機關科	工作科	看護科	主計科	四補給員	軍屬	合計
員數	二三三	二四六	三五	二九	六五	七六三	三〇	二三〇
備考	右員數八本隊員各派遣隊驅潛特務隊員ヲ合ム							

麾下總員數

種別	士官	特准	下士官	兵	其他	合計
員數	二九	六四	五〇三	六五九	三四	一八八九
記事	右員數八十通十港四掃三四掃一。五驅特六三驅潛艇對九分					

0711



